

2021 プロセス安全シンポジウム(PSS) ＜プログラム＞

開催日 2021 年 12 月 1 日 (水)

9:30-9:40	開会宣言・挨拶 PSS 大会委員長 鹿島石油(株) 社長/安全工学会副会長 武藤 潤
9:40-10:10	基調講演Ⅰ 「何が技能継承の課題か」 東京工業大学 環境/社会理工学院 特任教授 中村 昌允
10:10-10:40	基調講演Ⅱ 「自律高度保安に向けたセーフティケース手法の活用」 日揮グローバル(株)/横浜国立大学 先端科学高等研究院 客員准教授 田邊 雅幸
10:40-11:00	休憩
11:00-11:30	特別講演 経済産業省 産業保安グループ 保安課長 正田 聡
12:00-13:00	休憩
13:00-14:50	パネルディスカッション セッション1 テーマ「訓練と能力保証」 1. 座長による課題提起、発表者紹介：10 分 住友化学(株) 宮田 栄三郎 2. 「訓練と能力保証」についての各社の取り組み紹介：計 70 分 (1) 旭化成(株) 今村 啓二 「旭化成水島製造所におけるプラントオペレーター育成の取り組みについて」 (2) 昭和四日市石油(株) 田邊 卓也 「プロセス産業におけるタレントマネジメントのあるべき姿」 (3) ENEOS(株) 井口 雅貴 「ENEOS 水島製油所におけるヒューマンエラー防止への取り組みについて」 (4) 太陽石油(株) 黒川 博史 「事業所の教育体系の整理と新たな教育手法の取り組み」 3. パネルディスカッション：30 分
14:50-15:00	休憩
15:00-16:50	パネルディスカッション セッション2 テーマ「ハザードの同定とリスク解析」 1. 座長による課題提起、発表者紹介：10 分 出光興産(株) Mizanur Rahman 2. 「ハザードの同定とリスク解析」についての各社の取り組み紹介：計 70 分 (1) コスモ石油(株) 中林 大樹 「リスクアセスメントを行う人材の育成について」 (2) 住友化学(株) 和田 祐典 「住友化学(株)のリスクアセスメントの概要と将来の展望」 (3) 三井化学(株) 後藤 慎一郎 「三井化学(株)のリスクアセスメントの取り組み」 (4) 三菱ケミカル(株) 江原 誠二 「DX 活用によるリスクアセスメント支援」 3. パネルディスカッション：30 分
16:50-17:00	閉会宣言・挨拶 PSS 実行委員会委員長 岡山大学 名誉教授 鈴木 和彦

パネルディスカッション 発表内容詳細

セッション1：テーマ「訓練と能力保証」

CCPS/RBPS(Risk Based Process Safety)では、「訓練と能力保証」とは「従業員を訓練することで、危険な業務に対する従業員の能力が信頼できるレベルにある事を保証すること」とされています。そのためには、各業務で必要とされる能力水準を定義し、その水準を達成・維持するための教育・訓練プログラムを体系的に構築するとともに、そのプログラムを実行するための必要な資源を確保する必要があります。このセッションでは各社の取り組み内容を紹介し、議論することで、より良い能力保証のための施策を考えるための一助となることを期待します。

- (1) 発表者：旭化成(株) 製造統括本部 水島製造所 副所長 今村 啓二
発表内容：「旭化成水島製造所におけるプラントオペレーター育成の取組みについて」
①製造所が求めるプラントオペレーターの人材像と現状の課題
②育成プログラム運用によるオペレーター育成の取組みについて
③自ら考え行動する人への育成を目指した取組みについて
- (2) 発表者：昭和四日市石油(株) 四日市製油所 環境安全部 係長代理 田邊 卓也
発表内容：「プロセス産業におけるタレントマネジメントのあるべき姿」
①当製油所の、人と組織の変更管理/トレーニング/コンピテンシーのPSM エlement中期目標と計画
②Talent Management/Human Capital Management のあるべき姿とは
③テクニカル/ノンテクニカルを網羅した個人スキル表と、トレーニング計画立案/実行における課題
- (3) 発表者：ENEOS(株) 水島製油所 製油技術 Gr プロセスセーフティスペシャリスト 井口 雅貴
発表内容：「ENEOS 水島製油所におけるヒューマンエラー防止への取組みについて」
①近い将来の運転トラブル発生を予測できる運転系組織のKPI 管理とは
②上記KPI に基づいた活動の対象となる組織の絞り込み
③対象組織のプロセス安全マネージメントシステムの実力を補完するための活動の展開
- (4) 発表者：太陽石油(株) 技術教育統括部 黒川 博史
発表内容：「事業所の教育体系の整理と新たな教育手法の取組み」
①事業所の技術者育成の歩み(変遷)
②事業所教育の現状の把握と課題の整理
③教育体系の整理と新たな教育手法開発(動画コンテンツ化)の取組み

セッション2：テーマ「ハザードの同定とリスク解析」

限られた経営資源を有効に活用し、安全安定操業を継続するためには、ハザードを同定し、リスクを解析・評価し、リスクを合理的に低い水準まで減らす仕組みが必要です。本セッションでは、まず各社の「ハザードの同定とリスク解析」に関する様々な取り組みを紹介します。その上で皆さんと議論を行い、さらに効果的で効率的なリスク低減への取り組みを実践するためのヒントを持ち帰っていただければ幸いです。

- (1) 発表者：コスモ石油(株) 製造技術部 技術センター 中林 大樹
発表内容：「リスクアセスメントを行う人材の育成について」
①社内資格制度、リスクアセスメント基礎教育
②社内専門家の育成
③人材育成における課題と今後の取組み
- (2) 発表者：住友化学(株) レスポンシブルケア部 主席部員 和田 祐典
発表内容：「住友化学(株)のリスクアセスメントの概要と将来の展望」
①我が社のプロセスリスクアセスメントの概要
②ハザードが大きなプロセスへの重点取組み
③リスクベースのプロセスリスクマネジメントの構築に向けて
- (3) 発表者：三井化学(株) 安全・環境技術部 保安技術グループ 後藤 慎一郎
発表内容：「三井化学(株)のリスクアセスメントの取組み」
①リスクアセスメント推進体制の構築
②リスクアセスメント教育の実施
③定量的リスクアセスメント手法の展開
- (4) 発表者：三菱ケミカル(株) 環境安全本部 本部長付 江原 誠二
発表内容：「DX 活用によるリスクアセスメント支援」
①三菱ケミカルの概要と環境安全管理、活動の仕組みについて
②DX 活用による環境安全業務支援とありたい姿のイメージ
③事例：DX 活用による変更管理におけるリスクアセスメント支援